

テーマ 共同仕入・共同購入

共同購入と調達業務代行により根底より組合員を支える

丹後機械工業協同組合

組合員の短納期への対応力、コスト競争力そして品質向上を基盤から支えることで、丹後地域のものづくり産業を支える重要拠点として機能している。

背景と目的

当組合は、京阪神からのアクセスが悪い丹後地域において、調達しにくい各種材料や工具の共同購入を目的とし、昭和23年に設立した組合である。

現在では、交通の便が設立当初よりも大きく改善し、上記のような地理的なデメリット克服を目的とした事業活動から、煩雑な調達先との交渉機能及び調達業務のオペレーション代行というような機能面での支援をコアとした共同事業となっている。

主要設備の事務棟、第一工場棟、第二工場棟および高圧ガスボンベ庫に加え、関連施設として協業組

合丹後熱処理センターや高周波熱処理装置等があり、施設全体として技術集積を図ることで多様なニーズに対応する体制を整えて組合員支援を行っている。

事業・活動の内容

事業の中心は、共同購入と調達業務のオペレーション代行機能である。

当組合の業務は、共同購入というよりも、調達オペレーションの共同化により、組合員の業務軽減を支援するという性格を持ち、組合員の要望に基づき鋼材メーカー等との折衝を代行している。

調達方法は、鋼材の値上がりが見込まれるアイテムやコンスタントな受注が見込めるアイテムを中心に「鋼材の種類」「含有物質の内容」「サイズ」「直径」別に常時数千アイテムを在庫する在庫対応型と、含有する物や比率の違いに

対応するオーダーメイドのアイテムを中心とする受注発注型の2つの調達方法を駆使し、組合員のニーズに対応している。また、組合員の一次加工への対応もニーズが高く、指定寸法に切断加工して納品するという加工型の対応も行っている。

活動の成果

要望価格や短納期要請への対応が組合員の円滑な生産活動に寄与し、共同購入額は平成22年度に612,531千円にまで高まっており、品目別には鋼材関係57%、工具関係43%となっている。リーマンショックや東日本大震災の影響が懸念されているが収益性は安定しており、10%程度の利益率を維持している。

組合員においても、コスト競争力や短納期対応力が実現し、関連施設の協業組合丹後熱処理セン

ターにより、熱処理機能を持たない組合員が材料の強度を上げるなど品質向上にも寄与している。



組合ホームページ

丹後機械工業協同組合

住所：〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡1620-1
 設立：昭和23年10月
 出資金：94,543千円
 電話：0772-62-0263
 URL：http://tango-tc.jp/
 業種：金属加工業、機械類修理業
 組合員：106人
 組合専従者：10人（うち専従理事2人）